



■初めてのテント泊 伊吹山 日の出とお花畑を楽しみに

- 山 行 日：6月11日(土)～12日(日)
- 参 加 者：L尾越 SL 藤本 赤木 小山 塩津 田中(重) 田中(由) 山本(清)
- 行 動 記 録：
 - (11日) スタート地点 13:20 発～1合目(13:50 着)13:55 発～2合目(14:15 着)14:20 発～3合目(14:55 着)
 - (12日) 3合目 6:10 発～5合目(6:30 着)6:35 発～8合目(7:15 着)7:20 発～山頂(8:10 着)9:30 発～5合目(10:35 着)10:40 着～3合目(10:55 着)11:20 発～2合目(11:45 着)11:50 発～登山口(12:20 着)13:45 発

◆◆初めてのテント泊 伊吹山山行に参加して

田中(由)

梅雨に入って間もない山行なので一番気になっていた天気も朝からまずまずで安心しての出発です。

JRで近江長岡駅まで行きバスに乗り換え伊吹山登山口へ、バス停前の三ノ宮神社の境内をお借りして昼食、ストレッチ後、登山開始。うっそうとした急坂を黙々と登り樹林帯が開けたところがやっと1合目。ここからは見晴らしの良い草原が山頂まで続きました。(因みに私のリュックは13kg、他の人はそれ以上です。)

荒れた山道の右手の小高い山は薬草の多い徳蔵山でなぜか印象に残っています。山裾の町並みや琵琶湖を観ながら3合目に着き一息つく間もなくテント張りを済ませて少し落ち着きました。リーダーに山食作りを教えてもらいながらみんなで作り、ワイワイ言いながら楽しい一時を過ごしました。



テントで横になって少しするとグワァー、パタパタと風の音、テントの揺れる音が夜中まで続き、なかなか眠れませんでした。

翌12日は朝4時起床してホットドッグとスープを食べてからいざ山頂へ・・・急なガレ場、岩場をひたすら登り、途中から霧が出てきて期待していた展望は無く霧の中で一等三角点に到達し山頂を散策して、売店の温かいお茶とヨモギ大福はとても美味しかったです。

下山も厳しいものでしたがウグイス、ホオジロの鳴き声やアザミ、マムシ草、黄色いヒメレンゲ、クサタチバナ等に癒され気を紛らわせてもらいながら慎重に下山しました。

頂上はお花も少なく、3合目のユウスゲ祭りにも少し早目で本当に残念でした。

初めてのテント泊に参加させて頂いたのですが、テント泊に慣れた方ばかりでご迷惑をお掛けした事と思います。皆さんお世話になりありがとうございました。



■明神山(668m) 夢前町

- 山 行 日：6月12日(日)
- 参 加 者：L和田 SL澤田(律) 香川 兼本 狩集 木村 田中(美) 田羅間(勤)
藤田 舂賀 矢根 山下(雅)

- 行 動 記 録：夢の郷駐車場 9:10 発～三岩の頭・クジラ岩(9:50 着)～西の丸 4 2 5 m(10:40 着)～4 4 2 mピーク(10:45 着)～明神山頂上(11:45 着)12:20 発～五郎山 5 4 9 mピーク(12:50 着)～西山 3 4 2 . 5 mピーク(14:25 着)14:28 発～3 1 5 mピーク(14:45 着)～夢の郷駐車場(15:50 着)

◆◆明神山行記

兼本

今回、私たちが目指したのは山容の美しさから播磨富士と呼ばれる夢前町の明神山。

姫路在住者として、一度は上っておきたい山の1つでした。登山コースは、7つある内の上りはA u + Aコース、下りは大明神コースです。

日帰り登山で累積標高差1000メートル超えを健脚コースとするなら、今回は非健脚コースのはず。しかし、現地の案内図には「大明神コースはハードかつストロングコースゆえ夏場は避けよ」との表示。ままよ、夏山山行のトレーニングになると思い返して出発しました。

途中、ゴジラ岩、天狗坂、夢岩などのネーミングに妙に感心しつつ、最後は急登の正に気合坂を上りきると山頂に出ました。

頂上では、独立峰のためほぼ360度見渡すことができ、わかりやすい山座同定図も設置されていました。もっとも、当日はうす曇りのためすばらしい眺望とまではいかなかったのですが。

エピソード1 ルート上の大きな岩にてこずっている内に、メンバーの一人が滑ってしまいました。が、滑り落ちた下に何と踏みあとがあり、後続組は踏みあとを辿って、結果楽に岩越えができました。上ってだめなら下ってみな。

エピソード2 山ヒルが多いと聞いていたので、出発前にヒル除けとして澤田さん持参の塩水を靴やズボンの裾にかけ、更にスパッツをつけて上りました。しかし、おそらくメンバーの過半数がヒルに襲われました。私も休憩でザックを下すと、背の部分にヒルが、靴のまわりにもヒルが。幸い血は吸われなかったのですが、1匹家に持ち帰ってしまい、家族のひんしゅくを買いました。それにしても、途中出会ったハーフパンツに半袖Tシャツの彼は、なぜヒルにおそわれないのか。顔が怖くてヒルが恐れてよけたのか謎です。



下山は、大明神コースを辿りました。急な下りをロープも使い下りきると、また上りの繰り返しでまいりました。途中から、雨が本降りになり、筋肉痛もあってテンションがかなり下がったのが偽らざるところでした。

ゴールの神元神社が見えた時には、これで冷えたコーラが飲めると元気がわいてきました。が、ストレッチ後、訪れた「夢やかた」には微妙な味のゆずサイダーしかなかったのです。いずれにしる、明神山は低山ではあるがタフなお山であると感じました。

和田リーダー、澤田サブはじめ山行メンバーの皆さま、ありがとうございました。



■大和三山(女性委員会) 畝傍山、香具山、耳成山 万葉浪漫ウォーキング

- 山 行 日：6月18日(土)
- 参 加 者：L尾内 SL垣内 乙坂 貝塚(陽) 狩集 河合 瀧原 田中(由)
土井 西口 橋本(万) 開 山本(清)

- 行 動 記 録：橿原神宮前駅(9:51 着)10:10 発～橿原神宮(10:20 着)10:35 発～畝傍山(11:05 着)
11:15 発～本薬師寺跡(12:06 着)12:17 発～昼食(12:45 着)13:25 発～天香久山
(13:35 着)13:45 発～藤原京跡(14:25 着)14:30 発～耳成山(15:15 着)15:20 発～
大和八木駅(16:00 着)

◆◆大和三山を訪ねて

土井

6月18日、朝からとても良いお天気だった。「7月中旬ごろの気温です。」とテレビの天気予報が言っていた。そんな暑い中、今回の山行は大和三山の畝傍山、香具山、耳成山に登り、その合間に史跡を訪ねるというものだった。しかも、ガイドさんの説明付きで。

はじめに橿原神宮まで行きそこから畝傍山に登った。橿原神宮は初代天皇の神武天皇を祀ってある神社だ。周りを緑で囲まれていい雰囲気だなと思ったが、元々は木のないところに昭和15年の勤労奉仕によって植樹して、それが育って現在に至っているそうだ。畝傍山は大和三山の中で一番標高の高い山だそうだが、それでも199mしかなく、2、30分ほどで頂上に着いた。ガイドさん曰く、木が伸びていてあまり景色もよくないとのことだったが、頂上からは耳成山がはっきりと見えた。植樹された木のためか勝手に切ったり

できないとガイドさんは愚痴っておられたが、おかげで道のほぼ全部が日陰で助かった。

畝傍山をおりて、元薬師寺跡に寄った。

お寺は残っていないが、金堂、東塔、西塔の大きな礎石が残っていた。普通に民家の合間に残っていて、こんな立派な跡と生活感溢れる民家とのギャップがなんとも不思議な感じがした。



次に登った香具山は三山の中で一番登りが急だそうだが、20分くらいで頂上まで行けた。香具山には天照大神の岩戸隠れしたとされる天岩戸神社や古い神様を祀った天香山神社などがありパワースポットかもしれないと思った。天香山神社のそばには「波波迦の木」という木があってその木の皮と鹿の骨か亀の甲羅を焼いて吉凶を占ったそうだ。また、現在の天皇の大嘗祭の時にもこの木が使われたそうで、ひっそり立っている感じだったけど実はすごい木だった。

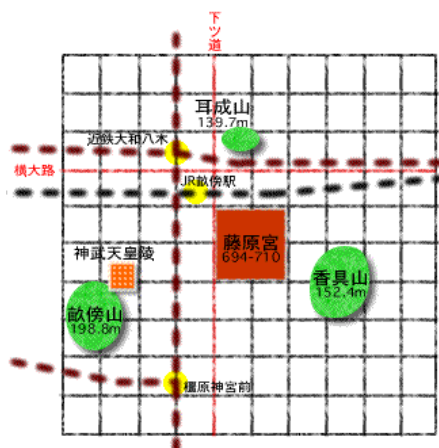
この後、町の中を歩いて藤原京跡へと向かった。

ものすごく広大な原っぱのようなところで、所々太くて赤い柱が建っていた。藤原宮の門のあったところにこの赤い柱が建っているそうだ。きっと、当時としては立派な建物が建って、都としてにぎわっていたのだろうなと思った。それから、資料館に行き藤原京を再現した模型の展示を見学した。ガイドさんによるとこの模型を作るのに1億円かかっているらしい。「そんなに!？」と思ったが、ガイドさんはちょっと自慢気だった。そんな1億円の模型をさらっと見た後最後の耳成山へと向かった。

耳成山はきれいな三角錐の形をしていて、それを人の顔に見立てて耳がない(出っ張りがない)というのが名前の由来だそうだ。ガイドさんによるとゆるやかなコースときついコースがあってゆるやかな方は明治天皇が軍事演習を耳成山からご覧になる時に馬車が通る道として作られたそうだ。私たちはきつい方を登ったが15分ほどであつという間に頂上に着いた。

大和三山はどの山も15分から30分もあれば頂上まで行けてちょっと物足りないぐらいだったが、その分合間の町中のアスファルトの道をてくてく歩くのが結構疲れた。でも、今回のようないろいろな史跡を訪ねて、歴史に思いを馳せながら山を登るのも楽しいものだった。

リーダーの尾内さんをはじめ皆様ありがとうございました。



■新緑を愛でながら六甲東半縦逆コースを歩く

- 山行日：6月26日(日)
- 参加者：L 藤本 SL 森本 赤木 岡本 尾越 小山 田中(重) 田中(由) 山下(雅) 山本(清)
- 行動記録：阪急宝塚駅 9:25 発～塩尾寺(10:10 着)10:20 発～大谷乗越(11:20 着)～船坂峠(12:15 着)～有料道路合流点(13:05 着)13:35 発～一軒茶屋(13:40 着)13:45 発～最高峰頂上(14:00 着)14:10 発～ガーデンテラス(15:00 着)15:15 発～記念碑台(15:40 着)15:45 発～丁字ヶ辻(16:15 着)～掬星台(17:35 着)

◆◆六甲山で紫陽花を鑑賞

藤本

当初、6月の六甲山山行を計画したときは掬星台周辺の紫陽花を見に行くつもりでいた。

しかし、3月に行われた六甲全山縦走大会で歩きながら考えた。東六甲に着く頃にはいつも暗闇の中ヘッドライトを点けて歩く。明るいときにこの景色を見てみたい。

また、蒸し暑い時期なので、宝塚から六甲最高峰まで標高差約900mを最初の元気なうちに歩いて、その後公共交通や自動販売機のある緩やかで長い縦走路の景色を楽しみながら歩けたらいいなど。掬星台まで行ったら、紫陽花も鑑賞できるし。

以前に本会の山行でこのコースを歩いた時の話では宝塚から塩尾寺までのアスファルト道を歩いただけでリタイヤした人がいたらしいと聞き、断面図を見て驚いた。なんと最高峰までの高度の半分近くこのアスファルト道が占めている！しかも長い。どうりでいつも塩尾寺にゴールしてからの下りがつらいわけだ。実際歩いてみてよくわかった。塩尾寺までのきついこと、本日一番長い急登が最初に来た。汗もいっぱいかいた。まだ歩き始めて1時間足らず、先の行程を考えると少し憂鬱だ。

しかし、塩尾寺を出てからの山道は登りといっても高御位山と同じくらいの山道でおまけにずっと木立の中なので意外と涼しいのだ。縦走で暗闇を下った時とはえらいイメージが違う。

その後船坂峠を越えたあたりから様相が一変、段差の大きい急登が東六甲縦走路の分岐まで続く。昼過ぎまで食わずに頑張ったのでここはしんどかった。

せっかくだから最高峰まで登って阪神・東日本大震災鎮魂・復興祈願の標柱を見に行きた。心なき者のしわざか、文字が一部削り取られているのを発見、残念だ。



ここまで来れば後は下り主体なので掬星台まで行けそうだ。問題は時間との戦い。午後5時までに掬星台に行けたら予定どおり稲妻坂、天狗道を経由して新神戸に下山しようと思った。

長旅の途中で藤原商店に寄り道したり、のんびり歩いたので40分近くオーバーしてしまった。掬星台にゴール後はロープウェイを使っ

て下山した。ガーデンテラスから掬星台までの間の道端に色とりどりの紫陽花が咲いていて目を楽しませてもらった。また花といえば東六甲縦走路を歩いていてササユリを何本か見つけた。中でも船坂峠を越えて急登を歩いているときに高御位山では見られないようなでっかいササユリに驚いた。

なんだかんだと言いながら誰も落伍せず全員で歯を食いしばって8時間余り、総延長20km超を歩きとおした。参加者のみなさま、本日はお疲れさまでした。

【参加者のひとこと】

(赤木)リーダーよかったよ。藤原商店のトマトがうまかった。

(岡本)めっちゃ頑張りました。何とか最後まで歩きました。

(尾越)ひんやりとした空気に助けられ、摩耶山まで楽しく歩きました。稲妻坂下山は時間切れで歩けなかったのは残念でした。

(小山)大へんでした。逆コースは初めてだった。

(田中由)このコースのリベンジが果たせた。足がつってしまい、申し訳なかった。

(田中重)念願の東半縦を完走できました。

(森本)逆縦走と記念碑台と最高峰に初めて行きました。

(山下) 出発直後の塩尾寺までがきつかった。もうダメかと思ったが、後は何とか掬星台まで歩いてよかった。

(山本清) 目標は塩尾寺まで。リタイヤして同じ道を引き返す? ならもう少し進もうと思い、なんとかゴールまで辿りつけました。



■六甲ロックガーデンから一軒茶屋

- 山行日：7月9日(土)
- 参加者：L 和田 SL 森本 田原 田羅間(勤) 福原 矢根
- 行動記録：阪急芦屋川駅 9:15 発～高座の滝(9:50 着) 9:55 発～風吹き岩(10:50 着) 11:00 発～雨ヶ峠(12:00 着) 12:45 発～東お多福山(13:10 着) 13:15 発～東お多福山登山口バス停(13:55 着) 14:05 発～阪急芦屋川駅(14:30 着)

◆◆雨の六甲山行

矢根

前日からの雨。当日は止むかと思いながら、9時に阪急芦屋川駅前に集合。

雨具をつけ、公園でのストレッチ後出発しました。雨の為、短縮コースに変更すること。高座の滝から風吹き岩まで歩いた時、黒猫に出会いました。12時過ぎから雨ヶ峠で食事と休憩をとりました。その後初めての山歩き教室の人たちと一緒に歩き始め、東お多福山～東お多福山バス停～阪急芦屋川駅へと戻りました。

駅に到着した時には雨もやんでいました。もう少し早く雨があがってほしかったです。

歩き始めから終わりまで雨の中を歩いたのは初めてでした。雨具をつけて歩くのは暑くて暑くて。

去年は初めての山歩き教室からの山行で、途中脚がつり翌日から筋肉痛になり、白山系三ノ峰終了山行には少し心配で参加しました。この1年間に色々な山行に行かせて頂き、最近では体力も少しずつついて来たように思います。来年も参加して晴天のもと、同じコースで体力を確認したいです。

皆さんどうもありがとうございました。



■六甲地獄谷～六甲山最高峰へ

- 山行日：7月9日(土)
- 参加者：L 藤本 SL 尾越 小山 田中(重) 田中(美) 田中(由) 田羅間(易) 苦瓜 山本(清)
- 行動記録：芦屋川駅 9:15 発～高座ノ滝(9:40 着) 9:45 発～風吹き岩(10:35 着) 10:45 発～雨ヶ峠(11:35 着) 11:40 発～東お多福山(12:00 着) 12:20 発～土樋割峠(12:30 着) ～一軒茶屋(13:15 着) 13:30 発～ガーデンテラス(14:20 着) 14:45 発～石切道入口(14:50 着) ～石切道登山口(16:05 着) 16:10 発～エクセル東(バス停) (16:25 着)

◆◆墨絵のような風景を歩く

山本(清)



前日の予報で降水確率は高かった。おそらく中止！！と決め込んで休日をどう過ごそうかなどと暢気なモードになっていた。「雨天でも山行はあります」とのメールで慌てた。

カッパを着ると雨はあまり気にならなかった。

一番目の目的地、地獄谷は水量が多いため尾根道に行く。怖そうな名前の谷だ。水音を聞きながら想像してみる。

またいつか歩いてみたいと思う。そこからの急登とガレ場は息が上がった。つかの間の休憩でリフレッシュ。辺りを見渡せば墨絵のような風景が広がっている。雨をうけて鮮やかなアジサイに和む。

*アジサイに 誘われ行く 登山道

ガーデンテラスを過ぎると石切道。ぬかるんだ道やガレ場の急な下りが続く。それでも下りを歩けることは有難かった。アスファルト道に出ると歩けた満足感で疲れが吹っ飛んだ。歩数計は34,060歩、23.16kmを刻んでいた。雨の六甲は苦しくも・・・楽しい山行だった。

*外は雨 中は汗だく カッパ脱ぐ

日暮れ前の街の空は太陽が輝いていた。

【参加者のひとこと】

(苦 瓜)久しぶりの山行なので、しんどかったー。

(田中重)きつかったです。今日は雨で行けなかった地獄谷へ行ってみたかった。

(田中美)足がつりそうになりました。

(藤 本)90%雨の予報にも関わらず、思ったより参加者が多かったのが驚いた。

(田中由)雨の中の山行は厳しかったです。

(尾 越)地獄谷は雨天増水のためコース変更となり、楽しみしておられた参加者の方は残念だったと思いますが、小雨の中を7時間、予定通り歩いたのは良い経験になりました。

(小 山)足場が悪く、疲れました。地獄谷、楽しみにしていたので残念です。次回、期待しています。

(田羅間易)山行の間は、降り続く雨に大変でしたが、それも経験の一つだと思います。地獄谷へ行かれなかったのが残念でしたが、またの機会を楽しみにします。



■国民平和大行進

- 期 間：7月12日(火)～7月16日(土)
- 区間は活動報告参照して下さい。

◆◆緑の旗を広島まで繋げよう！

三木(悦)

今年も歩いた国民平和大行進。行進中はシュプレヒコールと平和を願う歌を繰り返し歌いながら歩く。その歌の中で特に私の心に響く歌がある。広島、長崎のことを綴る「折り鶴」という歌である。7月12日、東二見～高砂市役所行進の中間地である加古川市役所で「東播センター合唱団」の方々がその歌を唄い行進団を激励してくれた。歌を聞き胸がジーンと、熱くなった。今年はオバマ大統領が平和のシンボル「折り鶴」を持参し広島を訪問した。あらためて日本はもちろん、世界中がヒロシマ、ナガサキを忘れてはならないと強く思った。

平和でなければ山に登れない！勤労者山岳連盟も国民平和大行進に賛同して緑の全国連盟旗を掲げ広島へ繋げています。平和(自然・山)を守るため、そして平和を深く考える日として私も参加しました。兵庫労山からも、いつでも、どこでも一歩でもと呼びかけがありましたが、天気が不安定のためか、残念ながら参加が少なかったように思います。来年はぜひご参加下さい。

◆◆国民平和大行進に参加して

澤田(律)

毎年7月は“ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！” “核兵器のない世界を”と核兵器廃絶を訴える行進に参加している。今年は7月14日、山陽電車飾磨駅前から、たつの市役所までのコースである。

この時期はいつも暑さに泣かされるが、梅雨明けが近い時期で大気の不安定なことが多い。今年も例外ではなく午後、網干市民センター出発時間の13時30分頃から雨がポツリ・ポツリ降り始めたと思った直後から、すごい量の雨が降り出した。幸い、雨が降り始めと同時に雨具をつけたので困ることはなかった。もう、自然の成り行き任せである。たちまち、ズボン・靴はビショヌレで靴の中で靴下を洗濯できたのではと思うほどであった。

とは言え、時には雨が小降りになったり、やんだり、強くなったりと変化があり、涼しい中で平和を願う行進となり、雨も捨てたものではないと実感できた行進となった。



■「初めての山歩き教室」実技5回目 高御位山

- 山行日：6月26日(日)
- サポート：砂川(延) 須増 山本(正一) 大谷 乙坂 島谷 清水 教室生13名
- コース：市ノ池みどりの相談所 9:00 集合～ストレッチ後 9:20 発～縦走路出合～鉄塔(休憩)～百間岩～鹿嶋神社分岐～鹿嶋神社～みどりの相談所前

◆◆実技報告 須増

実トレも、この日の「高御位山」と次回7月9日(土)のロックガーデンの2回のみとなった。午後は、ユーアイ帆つとセンターに於いて、三ノ峰終了山行のミーティングがあるため、高御位山清掃トレの西周りのショートコースを計画通り歩いた。

この日は、西側から登ってくる擦れ違いの登山者も多かったように思う。今年の実トレは、高御位山ばかりで面白くないな！と思っている受講生もあるのではないかと、思いつつ、

4回目になる高御位山の実トレも毎回コースを変えて行ってきたが、教室のメンバーも大分慣れてきたように感じた。中所登山口を折り返した前回のしんどさに比べると、距離的にも短く楽だったように思う。今のところは、歩き方に注意しながら、気持ち良く歩き通せるぐらいでOKではないだろうか。

下山口にある鹿嶋神社では、水無月の「夏越(なごし)神事」のお祓いの茅の輪(ちのわ)くぐりのセットが置かれて、祭礼の準備がしてありました。この「大祓式」(おおはらえしき)は、水無月(6月)と師走(12月)の年2回、古来より半年間の罪穢を祓い清めて、来たる半期を無病息災に過ごせる事を願い全国の神社で行われているとのこと。私は、この祭礼のことを知りませんでした。



■「初めての山歩き教室」実技6回目 六甲ロックガーデンから一軒茶屋

- 山行日：7月9日(土)
- 参加者：La 砂川(延) SLa 西口 教室生 6名
Lb 山本(正一) SLb 須増 教室生 5名
- 行動記録：阪急芦屋川駅 9:20 発～高座の滝(9:50 着)9:55 発～風吹き岩(11:05 着)11:15 発～雨が峠(12:20 着)12:40 発～東おたふく山(13:10 着)13:15 発～東おたふく山登山口バス停(13:55 着)14:02 発

◆◆雨の「芦屋ロックガーデン」

藤原(鶴)

人から、「晴れ女だね」といわれる私ですが、雨の六甲山となりました。さて、芦屋の高級住宅に見とれながら山歩きが始まりました。

阪急芦屋川駅を降り北へ登ると、すでに登山が始まるというアクセスの良さ。「ああ、これが六甲なんだ」と感激。

「高座の滝」は、ロックガーデンを象徴するかのような、岩肌を滑り落ちる素晴らしい滝です。

「ようこそ、ロックガーデンへ」と手招きされているようで、気持ちも高揚してきます。

雨の中の行程は、蒸し暑さとの戦い。花崗岩のよく整備された岩のスリルあふれる山道を遅れないように、滑らないように慎重にリーダーさんに付いていきます。

「風吹岩」からの眺望は雨にさえぎられましたが、おかげですれ違うハイカーが少なく、さながら「貸し切りロックガーデン状態」となり、混乱せずについて行けたのがよかったです。

汗が噴き出る細い道で、「し〜。静かに・・・」の声。左手の林の中に一頭のイノシシの姿が。皆さんと一緒になので恐怖心は起きず、山に溶けあっている姿がいとおしく思えました。

「東おたふく山」の頂上で記念撮影。標高697m。高御位山の倍を越える。ここまで付いてこられたことが嬉しく思えました。無事に下山を終え、バスが近づいたときは、リーダーさんたちには感謝の気持ちでいっぱいでした。

申し訳ないことにこの度は電車に乗り遅れてしまい、駅で皆さんを待たせることになってしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

「高御位山遊会」のリーダー・スタッフの皆さま、この4か月間ご指導ありがとうございました。半分ほどしか参加できませんでしたが、いつも丁寧なご指導をくださり感謝しております。そして、「同期」の皆さま、また、許されるならご一緒させてくださいね。

◆◆「初めての山歩き教室」

笹木

「初めての山歩き教室」のトレーニング6回目は、六甲山でした。

六甲山系の登山は初めてなのでとても楽しみにしていたのですが、当日は台風1号の影響を受け夜中から雨、カッパ、スパッツを装着してのスタートとなりました。

コースも変更になり一軒茶屋までは行けず、東お多福山を抜けて登山口バス停に下りるコースでした。登り始めのロックガーデンは、水はけが良い土質で歩きやすかったのと、岩登りが結構楽しかったです。また、雨が峠あたりでは、霧雨に煙る森が幻想的で妖精が出てきそうな雰囲気でした。

期待していた頂上からの神戸港の景色は望めませんでしたが、雨の中の山登りも経験でき、最終三ノ峰山行に向けてよいトレーニングになったと思います。ありがとうございました。

